

さいたま市障害者社会参加推進センターだより



# ぱらネット

第40号

## 会場&オンライン開催

令和3年度さいたま市障害者週間記念事業市民のつどい

12月4日(土) 会場開催 浦和駅東口駅前市民広場  
12月3日(金)~令和4年1月31日(月) オンライン開催

今年度はコロナ感染防止を最優先に考えながら、現地会場開催を縮小し、  
オンライン開催と併用した初めてのハイブリット開催となりました。

より多くの人に参加して頂けたと確信しております。

初めての試みなので心配な点多々ありましたが、目標を達成できたことに感謝申し上げます。

**基調講演 講師：義足のダンサー大前光市さん** (オンライン開催)



さいたま市  
障害者週間 市民のつどい

**大前光市**  
Ohmae Kohichi



基調講演 オンライン開催スタート!

パラリンピック閉会式や紅白などで話題に

### ~出来ないと思う心が障害~

24歳の時、交通事故で左膝から下を切断。  
義足ダンサー大前光市さんの基調講演会が開催されました。  
「できない」を特徴として受け入れ、自分だけのダンスとし、  
自分の人生と向き合ってきたこれまでの軌跡をお話していただきました。



皆さん、こんにちは! 大前光市です

# さいたま市 「障害者の日」市民のつどいについて

NPO法人さいたま市

障害難病団体協議会

代表理事 河端 静子

二〇二一年十二月四日、今年  
のさいたま市「障害者の日」記  
念事業市民のつどいが浦和コ  
ミュニティセンターで開催され  
ました。昨年からの新型コロナ  
ウイルス感染症予防のため、会  
場の開催が縮小されこの日を楽  
しみに準備されていた関係者の  
皆さんは大変残念な思いをされ  
たことと存じます。

さて、この「障害者の日」は  
一九八一年（昭和五十六年）  
十二月九日の「ひろがる希望の  
つどい」が起源だとご存じの方  
は少ないと考え、あらためて「障  
害者の日」がどうしてできたの  
か？をお話いたします。

一九八〇年（昭和五十五年）  
から十年間を国際障害者年とし  
て全世界が取り組み、日本では

一九八一年一月九日日本国際  
障害者年推進協議会本部、総理  
府、東京都の主催による中央記  
念事業「ひろがる希望のつどい」  
が、日本武道館で開催されまし  
た。私も今は亡き夫と難病の次  
女とともに出席しました。

第一部では日本国際障害者年  
推進協議会本部長の内閣総理大  
臣鈴木善幸氏のあいさつ、皇太  
子殿下のお言葉の後、国際障害  
者年を記念し、障害者基本法に  
のっとり障害者問題について国  
民の理解と認識を深め、さらに  
障害者福祉の増進を図るため、  
毎年十二月九日を「障害者の日」  
とすることが宣言されました。

続いて、障害者の福祉向上に  
関し、顕著な功績のあった方及  
び団体に、総理大臣から表彰状  
及び記念品が贈られ、夫である  
日本筋ジストロフィー協会理事  
長・河端二男と埼玉県障害児教  
育振興協議会理事（前県立蓮田

養護学校長）の井戸川真則氏ら  
が受賞されました。

第二部はろう者劇団による演  
劇をはじめ目の不自由な方のバ  
イオリン演奏、弾き語りがあり、  
「ひろがる希望のつどい」中央  
記念事業が終わりました。

「障害者の日」が宣言されて  
以来、十二月三日から九日まで  
を障害者週間として、それぞれ  
各地で記念事業の取り組みが始  
まり、さいたま市では第一土曜  
日を選び毎年実施することとな  
り、今日に至っております。



クッピー

クッピーは、「障害者の日  
（十二月九日）」の休日化運動を  
推進していくためのシンボル  
キャラクターです。「人」が堂々  
と胸を張り、前向きに生きてい  
く姿を表しています。

## 「障害者週間」とは…

毎年12月3日から9日までの1週間のことを指します。

障害者週間は、障害者基本法において、国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することの促進を目的に定められています。

会場&オンライン開催  
令和3年度  
さいたま市  
障害者週間記念事業  
市民のつどい

<p>12/4 (土) 会場開催</p> <p>日時：令和3年12月4日(土) 午前10時～午後2時</p> <p>会場：さいたま市市民会館 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1</p>	<p>12/3～1/31 (日) オンライン開催</p> <p>日時：令和3年12月3日(金)～令和4年1月31日(月)</p> <p>配信：さいたま市市民会館 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1 〒330-0801 さいたま市大宮区大宮1-1-1</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基調講演  
講師：大河 光浩 (いばらき さいまさん)  
開催：令和3年12月3日(金)～12月13日(月)  
配信：さいたま市公式YouTubeチャンネル  
配信：さいたま市公式YouTubeチャンネル

お問い合わせ先  
さいたま市障害者社会参加推進センター  
TEL: 048-833-3389 FAX: 048-833-3341  
E-MAIL: shougai@city.saitama.lg.jp

さいたま市障害者社会参加推進センター  
TEL: 048-833-3389 FAX: 048-833-3341  
E-MAIL: shougai@city.saitama.lg.jp

主催：さいたま市、さいたま市障害者社会参加推進センター、さいたま市障害者協議会



黒澤 篤子実行委員

コロナの落ち着いた時期で人が多く、天候にも恵まれ参加者が一堂に集まり過ごせたことは大切な時間になりました。販売品は午前中に品薄になり盛況でした。ヌウの着ぐるみが登場すると親子連れや若者の写メのチャンスで列ができるほどで、先のパリンピックで名前が知れ渡ったポッチャの体験コーナーでは見学者が集まり関心が高かった。

コロナ禍で繋がる方法を見直した今年の「市民のつどい」では、各障害者団体の紹介動画作成にパワーポイントを使用しました。行政の方とは何回も集りを持ち、知恵を借りる機会を得て、日頃から理解と協力をいただいている仲間の力も借りて、思いのこもった動画作成ができました。

障害のある人のこの2年（コロナ感染）は多くの心配と配慮が必要になっています。来年は是非すぐに触れ合って話を聞いて笑いあえる時間を作れる「市

### 会場開催

# ふれあい・つながる喜び

## 市民のつどい実行委員

一般社団法人  
さいたま市  
手をつなぐ育成会

黒澤 篤子

施設内での開催は見送ることになりました。今までにない方法を取り入れる挑戦が出来る年になったように感じました。

今年開催された市民のつどいは、オンライン部門と会場開催の2本立てで行われました。オンライン部門の方では、障害について理解を深める動画に参加しました。撮影時期はコロナ全盛期の頃でさいたま市地区の理事5名で集まることは無理と判断し、2名で会議室を借りて行いました。

内容は、埼玉県自閉症協会と発達障害についての説明をナレーション形式で行うというものでした。動画撮影など経験もなかったのですが、マニュアルに沿って撮影を行い、その動

民のつどい」になることを参加者の多くが願っています。

ご協力をいただいた各団体の方々、参加した多くの市民の方、準備と企画運営に力を注いでいただいた実行委員の方々に感謝と御礼を申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。

埼玉県自閉症協会  
さいたま市地区

堀井 知余子

内容は、埼玉県自閉症協会と発達障害についての説明をナレーション形式で行うというものでした。動画撮影など経験もなかったのですが、マニュアルに沿って撮影を行い、その動

画を障害福祉課の方の協力のもと、YouTubeで配信することができました。

会場開催では、ヌウのアテンド（付き添い）の係をしました。その中でヌウに集まってくれた市民の方たちに直接理解してもらうよい機会になったと実感しています。

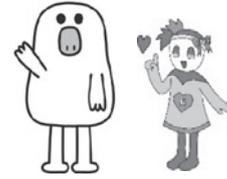
理事会で顔を合わせる他団体の方たちと一緒に活動する中で話す機会ができたことは、私にとっても市民のつどいに参加する意義があると思わせてくれるものでした。



堀井 知余子実行委員



# 生きる ~団体紹介~



**\*NPO法人**  
さいたま市障害難病団体協議会\*

加藤 団体名簿

- 1 (社) さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 2 さくら会(障害者)
- 3 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 4 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 5 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 6 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 7 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 8 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 9 (社) さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 10 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 11 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 12 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 13 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 14 さいたま市障害者就業・生活支援センター
- 15 さいたま市障害者就業・生活支援センター

さいたま市障害難病団体協議会

私共は、NPO法人さいたま市障害難病団体協議会です

NPO法人さいたま市障害難病団体協議会

火曜例会(夜間)

水曜例会(夜間)

木曜例会(午前)

コロナワクチン接種の説明会を開催しました。聞かえないため、正しい情報を確保することが難しいので、さいたま市コロナワクチン対策室の職員に分かりやすく説明していただきました。

火曜・水曜・木曜例会の全3回、どの回も、たくさん参加がありました。

さいたま市聴覚障害者協会

笑顔いっぱい子どもたち

さいたま市肢体不自由児・者父母の会

障害の原因は、出生時のトラブル、病気や事故の後遺症、

さいたま市肢体不自由児・者父母の会

障害者(児)の生活と権利を守るさいたま市民の会、会長の渡辺です

障害者(児)の生活と権利を守る さいたま市民の会

特定非営利活動法人 さいたま市視覚障害者福祉協会

歩行訓練の様子

特定非営利活動法人 さいたま市視覚障害者福祉協会

お金の繋がりは強！  
福祉サービスを使う  
地域に開いた場所  
自己肯定感獲得の1つに  
信じ抜くことの大切さ  
大文字の響きの社会へ

みんなと一緒に  
作っていききたいなって  
思っています

みんなと一緒に、作っていききたいなって思っています

たちあおい

埼玉県筋ジストロフィー協会  
さいたま市支部

TEL 090-2767-0911  
FAX 048-851-7215

saitamacity.pmd@gmail.com

是非インターネットや動画で検索をしてみてください

(社)埼玉県筋ジストロフィー協会 さいたま市支部

仲間が集まれば  
きっと乗り越えられる！

埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県マスコット「さいたまっちゃん」

仲間が集まれば、きっと乗り越えられる

高次脳機能障害 さいたま これからの道



# 地域で 共に

**統合失調症とは・・・**

- \*慢性の疾患であり、脳を始めとした神経系の働きの不調です。
- \*男女ほぼ同数で、約100人に1人がかかる病気です。
- \*15～35歳までの比較的若い世代の人が発症しやすいようです。
- \*統合失調症は回復できる病気です。最近では新薬が開発され発症からの経過が良くなっています。**なるべく早く医療機関に相談しましょう。**
- \*治療の基本は、本人の自然回復力を高めることです。
- \*病気の症状の背景には様々な苦しさがあります。
- 症状よりも、それらの苦しさを理解することが大切です。

症状よりも、それらの苦しさを理解することが大切です

さいたま市精神障害者家族会連絡会

思い思いの柄の包装紙を使って素敵な小物入れができました

さいたま市身体障害者福祉協会

●展示作品のご紹介

こちらは、今まで作品展に展示されたもののご紹介です

埼玉県自閉症協会さいたま市地区

みんなちがってみんないい

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会

みんなちがってみんないい

一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会

多様な働き方ができる  
グリーンフィンガーズ

就労継続支援B型      就労移行支援

障害福祉サービス事業所  
一般社団法人 ノーマライズうらわ

障害福祉サービス事業所 一般社団法人 ノーマライズうらわが運営しています。

一般社団法人ノーマライズうらわ

エンディング

NEUEでは、いろいろな日中活動を通して地域社会や人との交流を大切にしたいと考えています。  
「一緒にいることから始めよう」をモットーに自立に向けて活動するメンバーをしっかりと支援していきます。

地域社会や人との交流を大切にしたいと考えています

一般社団法人みっくすビート

ロービジョンラボの代表をさせていただいております 福迫と申します

ロービジョンラボ (Next eyes lab)

皆さんこんにちは。当事者会ウィーズの竹内政治です。

さいたま市精神障害当事者会 ウィーズ

# ふれあいステージ



今年度のふれあいステージには障害者施設五団体の皆さまにご出演していただきました。ご協力ありがとうございます。

## 大宮ゆめの園デイサービス

小林 真大

初めまして。社会福祉法人ハッピーネット「大宮ゆめの園デイサービスセンター」のセンター長・小林真大と申します。

当事業所は、二〇〇三年四月に埼玉県さいたま市内で、当時まだ数が少なかった児童デイサービスセンターとして定員二十名でスタートしました。

同じ敷地内に障害者通所支援施設、隣接地には特別養護老人ホームがあり、共生型の

複合施設の一つとして、十七年の実績を持つ、障害児の通所支援施設となっています。

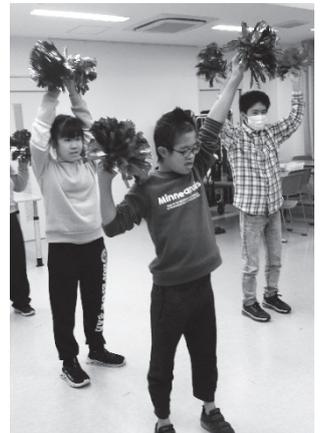
その中で、身体を動かすことを目的として結成いたしましたチアダンスクラブの発表をさせていただきました。

昨今、新型コロナウイルスに伴うイベントの縮小・削減により、毎年一度開催されているこの発表の場は、子ども達をはじめ職員にとっても目標となっており、また「やりがい」へと繋がっています。

引き続き、地域への繋がりの場として、この大切な機会を通して、私たちのチアダンスクラブ「Challengers」(挑戦)を応援していただけたら幸いです。



ゆめの園さん 練習風景→



埼玉社会福祉事業協会

## 小春日和



ウィーズ 竹内氏



交流を深める会員の皆さん

### 社会福祉法人「いーはとーぶ」 生活介護事業所長

小島 正美

社会福祉法人「いーはとーぶ」です。埼玉県さいたま市北区に二〇〇〇年、心身障害者地域デイケア施設「いーはとーぶ」を開所。二〇〇七年に法人格を取得して以来、生活介護事業、短期入所事業、共同生活援助事業、特定相談支援事業、多機能型事業を展開しています。

障害の重い人たちが地域で安心して暮らせるように、地域社会との共生を目指しています。

さいたま市障害者記念事業「市民のつどい」には数年前から一部の利用者さんと職員でチームを結成し、ステージ発表をしてきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン企画となり、生活介護事業の利用者さん全員をビデオカメラに

収めると、歌やダンスと一緒に日常の風景も感じられる作品に仕上がりました。そして、さらにたくさんの方の笑顔をお届けする機会にもなりました。どんなに障害が重くても利用者さん自身が架け橋となり、理解者を増やすことができると信じています。



いーはとーぶ



織の音アート・福祉協会

ご視聴ありがとうございます！  
これからも「できない」ではなく、「できる方法」を考えて挑戦していきたいと思っています！！

ごしょうありがとう ございませし  
これからも「できない」ではなく、  
「できる方法」を考えて挑戦していきたく  
おもっています

ダイアリー



ポッチャ体験ブース



売り切れ  
ました

お天気に恵まれ  
来場者多数  
売り切れ  
続出です！！

# 障害がある人もない人も共に生きる社会を目指して 大切にしたい市民のつどい

「ノーマライゼーション条例」が制定されて十年になりました。私たちは、市民のつどいの企画・運営に携わることを最重要事業として、長年取り組んできました。

会場が浦和コミュニティセンターに移った平成二十七年の基調講演には、姜尚中氏をお迎えし来場者が飛躍的に増えて、多くの皆さまに関心を持っていただける契機となりました。



市民のつどいで最も大切にしていることは、障害当事者が参画することです。近年の基調講演では、自閉症の東田直樹氏、

発達障害のピアニスト野田あすか氏、全盲の中学校教師、新井淑則氏に御登壇いただき、当事者でないとは分らない気持ちや葛藤を話していただきました。また、ふれあいステージでは障害者施設の利用者の皆さまが、生き生きと躍動する姿を披露してくださっています。

障害がある人もない人も、同じ場所と同じ時を過ごし共に創り上げていく市民のつどいは、ノーマライゼーション条例の理念が広がる共生の一日となっています。

今年度、コロナ禍でも諦めることなく、浦和駅前市民広場において会場開催。多くの成果が得られたことは、この上ない喜びです。ご協力頂きました皆さまに心より御礼申し上げます。また、オンラインと会場のハイブリッド開催になったことで、基調講演や障害の理解を深める

動画、障害のある方によるステージ発表は繰り返し視聴することができました。

義足ダンサーの大前光市氏は、挫折を乗り越え自分だけの表現を見いだして、障害をポジティブに捉え工夫する明るい姿勢と、力強いダンスから多くのメッセージを発信していただきました。

市民のつどいに私たち障害当事者と家族が関わり続けることで、ノーマライゼーション条例が少しずつでも認知されれば幸いです。『多様性を認め合い誰もが尊重され、暮らしやすい地域になる』ことを願っています。



実行委員長 中野 勇氏  
副実行委員長 米山 恵美子氏

## 編集後記

コロナ禍が落ち着き、2年ぶりに帰省した息子と迎えた正月。現在のような感染状況になるとは夢にも思っていませんでした。あつという間にオミクロン株による「第6波」襲来。感染者数の増加に歯止めがかからず、過去最多を連日更新。コロナ拡散により、定例家族会・家族教室が中止となっています。オミクロン株は重症化率が低いとされますが、感染者自体が多いため外来診療はひっ迫しており、感染者数の下げ止まりは程遠い状況で、濃厚接触者の自宅待機も増えていきます。基本的な感染予防対策は守りたいものです。  
(鈴木)

発行 さいたま市障害者社会参加推進センター

〒330-0801  
さいたま市大宮区土手町 1-11-1

大宮ふれあい福祉センター4F  
TEL 048-653-7271  
FAX 048-653-7341  
http://www.saitama-planet.com/  
e-mail: saitamacity-handynet@bz03.plala.or.jp

発行・編集人 中野 勇